

コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第232号

2026年6月8日

「ヒナの目に注目！」

ふ化直後は手のひらに収まるサイズでしたが、2か月ほどで、もう親鳥たちとほぼ同じ大きさとなりました。以前からガイドの時間などで、そんなお話をしてはいましたが、実際にこの変化を目の当たりにすると、あらためてその成長の速さに驚かされます。



花とヒナ

さて、ぱっと見ただけではもう親鳥と見間違えてしまうようなヒナたちですが、よく見るとまだ違うところがあります。今回はヒナの“目”に注目です。



こちらは花の目

成鳥のコウノトリの目といえば、白い虹彩の中に黒い瞳。目の周りの赤い皮膚も相まって、ちょっと鋭い印象を受けます。一方で、ヒナの目はそんなことはありません。真っ黒に見えます。でも、これもそのうち成鳥のような白になるはず…。

では、ヒナたちの目はどのように変化していくのでしょうか。今回はふ化してからのヒナの“目”を追ってみました。少し見えにくい写真もありますが、

ご容赦ください。



■ 5日齢

ふ化したばかりは
やっぱり真っ黒に見えます



■ 14日齢

2羽ともぱっちり真っ黒



■ 30日齢

正面からも黒です
よ〜く見ると瞳孔が見えます



■ 37日齢

日の当たり具合もあるかもしれませんが、真っ黒から少し明るくなったかも？



■ 42日齢

足環装着の際の写真

近くで見ると、やっぱり明るく見えます！



■ 55日齢

明るくなってからはあまり変化なし…？
以前よりはだいぶ明るくなりました。

日々大きく変わっていくわけではありませんが、確かに成長を感じました。今後の変化も楽しみに観察していきます！

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：寺内